



こんにちは 府会議員

さこ祐仁 活動報告

2008年5月25日発行 No.60
千本出水下る十四軒町392
さこ祐仁事務所
Tel 075-813-2117

いま日本共産党の政策が、これまでつながりのなかつた人々とも響きあっています。総選挙で日本共産党を前進させ、後期高齢者医療制度を中止・撤回させましょう。

各業界団体のかたに5月の連休明けから「日本共産党との懇談会を」と申し入れていきます。受けとめ方はそれぞれですが、今の景気の悪さの打開はこの団体もどこも望んでいらつしやいます。

「共産党さんがこられたのは、ビックリしました。最近、貴党も発言がずいぶん変わってこられた。民主党さんはどちらにもいい顔をされていくよ、わからないう。オール与党ではあかんですよ。ね」「中小企業予算が削られて運営も大変ですよ」「行政は、京都駅周辺の開発どうしようとしているのでしょいかねえ」「商店街の空き店舗問題、権利者の住まいを

近くに見つけてやらないと対策にならないのだけ」と行政への思いや要求も出されたりします。

また「どの政党とも懇談会はしません」「業界団体全部といっぺんにやられるのですか?」「役員がどういうか?懇談会の申し入れがあつたと伝えときます」と事務局のかた。「うちは、独自の要望もあるので、ぜひ懇談したい」と言ってくれる団体のかたも。

昨年、原油価格高騰問題でお話を聞きに伺った時よりも、ちよつと和やかな雰囲気の中にもありました。日本共産党の議会での働きとみなさんの要望によって、「原油価格高騰対策等特別支援制度(月々の返済負担を軽減する長期融資期間特例制度)」が、府市で創設されたことを話すと「ほう、そうですか。いいことですね」と関心を持たれる事務の方もありました。4月度の実績は76件21億1800万円です。

こちらから足を踏み出して、情報の交換をおこなうことが大事ですね。



ある組合の西陣賃借関係者の定例会に参加し懇談しました

た。みなさん、「一昨年の困り込み商法、過量販売により和装の信頼が落ちて仕事がない状況が続いている」と嘆いておられます。しかし嘆いてばかりではおられないと「売り上げは減少しているが、従事者は多数いる。産地問屋は不況だと縮小して倒れていない。体力はあるのではないか?工賃で食べられるよう要求すべきではない!」「日本和装いろいろの問題があるようだが、着物を購入した人に着付けを教えるシステムをもっているのはいいと思う」「観光都市を目指す京都なら、着物を着たい人には無料で貸す制度を行政が作って応援する。地域の商店街にも協力してもらおう。宮崎ではないが、全国に知事が先頭になって宣伝してもらったら」「島根県ではやさき節を授業で教えているらしい。京都でも授業で着物の着付けを教えたかどうか」といろいろと意見も出ます。

わたしは「そういうみなさんの和装振興の思いを行政の担当者として懇談することも打開の一つ。一緒に取り組んでいきましょう」「西陣織を見て、触れて、体験して、歩いてそして泊まってこれを中心にした伝統産業と観光産業が結合した総合的な集積地」という西陣地域ミュージアム構想も話し合われています。この西陣の再生のために頑張りましょう」と話しました。

つれづれブログ

お祭りの季節です。私の住んでいる室町学区では、上御霊神社の祭りが5月18日におこなわれました。「御霊さん」と慕われ多くの人々が関わっておられます。三基の神輿それぞれのみこし会の方々とお話をさせていただきました。

今年日は曜日

で、担ぎ手も多々いるとのことでしたが、みこし会や愛好会の運営には大変ご苦労されていると聞きま

またその日は早朝から京都御苑の富小路グラウンドで、上京区の消防団総合査閲がおこなわれ、通常点検や消防訓練などを見させてもらいました。日頃から訓練されているから安定した足取りで動いておられるのがよくわかりました。自分だったらあの中腰での動作は耐え切れな



は耐えられないだろうが、拍手しながら聞いていました。消防団の関係者、また各学区の代表のみなさま、ごくろうさまでした。

写真(右) 15日、ミャンマーサイクロン・中国四川大地震の被災者救援基金の宣伝を北野白梅町で。1万1千円のカンパがありました。

